

珠洲市の具体的取組

資料－４

子どもたち一人ひとりが豊かな経験を積み、健やかに成長できるよう、珠洲市では「第３期 珠洲市教育振興基本計画」で示された施策を基盤としながら、地域の強みを生かした教育を展開し、「ここに通わせてよかった」「この地域で育ってよかった」と思える魅力ある学校づくりを推進している。

基本目標	取組	主な内容と効果
人間力を育む学校教育の推進 (1)確かな学力の育成	SDGs 学習の推進	2018年に、市が「SDGs 未来都市」に選定され、2020年から、SDGs 学習を始め、今も継続して行っている。豊かな自然環境や伝統文化を生かしつつ、次世代に向けた持続可能な地域を目指した学びを推進している。 ○能登 SDGs ラボ、民間企業と連携した「SDGs 合同学習会」の実施 ・企業が実際に行っている取組を直接学ぶと同時に、自分たちの地域の未来について主体的に考えることで実践する力、地域への愛着心の育成が図られている。 ○「SDGs 学習取組報告会」の実施 ・「これからの珠洲をどうしたいか」「自分に何ができるか」などについて自分事としての意識が高まっている。学校間で学びを共有し、異なる視点やアイデアに触れることで、児童生徒の考えの広がりや深まりにつながっている。  SDGs 合同学習会
	学びの質の向上	○オンライン学習、集合学習の推進 ・オンラインで複数の小学校・中学校を接続して合同授業を行っている。また、複数の小中学校が集まる「集合学習」を実施している。少人数校同士がつながり意見交換したり、集合して学びあったりすることにより多様な考えに触れ、社会性やコミュニケーション能力を育んだり、大勢の仲間の中で切磋琢磨することで、物事を多角的に捉える力や主体的な発言力を育成したりしている。  小学校オンライン学習  中学校集合学習

	外国語活動及び英語教育の充実	○小中高英語教育連絡協議会の開催、小学校6年生・中学生のスコア型英語検定試験の実施 ・外国語活動及び英語の授業改善につなげている。 ○英語スピーチコンテストの開催 ・語学力の向上とともに、生徒が自ら考えを発表・表現する機会を拡充し、学習意欲と表現力を高めている。
(2)豊かな心の育成	自然体験学習や人と触れ合う体験	○総合的な学習の時間における探究的な学習の実施。探究学習会の開催 ・教科書上の知識にとどまらない、「珠洲だからこそできる探究学習」を展開し、珠洲市の地域資源や人とつながる学びを行うことにより、教科の学びが深まったり、児童生徒の「自己有用感」が高まったり、ふるさとを大切にしようとする心の醸成につながったりしている。
		○自然共生室、NPO 法人と連携した「生き物観察会」及び観察会の報告会の実施 ・生活科や総合的な学習の時間及び特別活動等において、生き物調査を通して里山里海に関わる学習を行い、児童生徒がそこに住む人々と触れ合ったり、生き方を知ることを通して、珠洲のよさを見直し、珠洲を愛する心を育むため、平成25年度から継続して行っている。 ・実際に水田や用水等に入り、生き物に直接触れる体験を通して、地域の豊かな自然への理解を深めている。また学んだことを農家などの地域の方へ伝えることで環境保全と農業を共に考えるきっかけとなり、豊かな人間性を育んでいる。 生き物観察会
(2)豊かな心の育成	児童生徒の達成感や充実感の醸成	○小学生による「音楽の集い」、中学校合同文化祭の実施 ・文化・芸術活動を通じた表現力の向上と一体感・達成感の醸成につながっている。
		音楽の集い

(3)健やかな体の育成	連合運動会・体育交歓会の実施	○市内全小学校・義務教育学校前期課程の児童が一堂に会する「連合運動会」、4～6年生が集う「体育交歓会」や器械運動交歓会の開催 ・大勢の仲間と競い合い高め合う機会により、競技力や運動能力の向上につながっている。   連合運動会 体育交歓会
小中一貫教育の推進	ふるさと教育の推進	○「ふるさと珠洲科」の実施 ・地域の自然・文化・歴史を地元住民から学び、ふるさとへの愛着と誇りを育む「ふるさと珠洲科」を開校以来実施している。小中一貫教育の長所である連続性を生かしたカリキュラムにより、人や自然からふるさとの魅力を学ぶだけでなく、地域が抱える課題の解決に向け、「これからの珠洲をどうしたいか」「自分に何ができるか」などについて当事者意識を高め取り組んでいる。地域住民らの協力を得て授業を進めることで、児童生徒は地域とのつながりの大切さや地域の力を実感し、学習成果は観光や町づくりの分野で地域に還元されている。
学校・家庭・地域の連携	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の実施	○すべての学校でコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の実施 ・地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有することで、地域の方々の専門的な知識や知恵を授業や学校行事に取り入れることができ、児童生徒の学びの深まり、ふるさと愛の醸成につながっている。
	地域の方と児童生徒の交流・学習活動の推進	○まちの先生による専門的な学習の実施、お年寄りやボランティアグループなどとの交流の実施 ・「地域の先生」から直接教わることで、教科書の知識が体験と結びつき、より深い理解と知的好奇心・探究心が高まっている。また、地域の方から感謝されたり、褒められたり、自分の成長を認められる体験を重ねることで、「自分は地域や人の役に立っている」「自分にはよいところがある」という自己有用感や達成感が醸成されている。
	中学校部活動の地域展開の推進	○土日・休日の中学校部活動地域展開の段階的推進 ・平日は学校、休日は地域クラブという部活動体制により、少人数であっても生徒が希望するスポーツ・文化活動を続けられる環境を整えている。

児童生徒の意識調査

令和８年度「全国学力・学習状況調査」における児童生徒の学習習慣や世活習慣、学習環境等に関する「質問調査」において、全国の児童生徒の回答と比較し、本市の児童生徒の回答で肯定的回答が高い事項と課題がみられる事項の主なものをまとめたものである。

上：本市児童生徒の回答（％） 下（ ）：全国児童生徒の回答（％）

質問事項	小学校６年生	中学校３年生 義務教育学校９年生
学校に行くのは楽しいと思いますか。	97.4 (85.7)	93.0 (85.4)
自分にはよいところがあると思いますか。	97.5 (85.6)	86.0 (84.0)
将来の夢や目標を持っていますか。	87.2 (81.8)	62.8 (67.6)
友達関係に満足していますか。	94.9 (91.1)	90.7 (91.2)
学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。	週１～２回以上で比較	
	94.8 (75.0)	25.6 (36.4)
あなたの学校では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。	92.3 (69.6)	86.1 (67.5)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	92.3 (80.1)	86.0 (72.3)
あなたは自分がPC・タブレットを使って学校での活動でプレゼンテーションを作成できると思いますか。	94.9 (74.6)	90.7 (80.0)
学校の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができてますか。	97.5 (85.7)	97.7 (87.0)
先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	97.4 (87.3)	95.3 (85.2)
普段（月～金）、１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴をしますか。（学習時間とゲーム時間は除く）	１日１時間以下で比較	
	15.4 (15.5)	2.3 (8.0)
家庭学習の課題（宿題）として、どの程度、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか。	週１回以上で比較	
	33.4 (29.7)	13.9 (24.5)